



## 新市誕生から20年 広がる、深める 郷土のあゆみ

新市誕生から20年が経過しました。この間、地震や雪害、人口減少など、さまざまな出来事を経て社会環境は変化しました。その変遷を歴史資料などからたどり、各地域のあゆみを振り返ります。

問合せ先 総務課市史資料室（北村支所内） ☎ 56-2001

### 第2回 二つの集治監と炭鉱開発に続く士族移住、岩見沢村の誕生

幌向駅から西に約1キロメートルの地点は、かつて石狩川と幌向川が合流する幌向太と呼ばれ、明治の開拓期、札幌方面からの陸路と石狩川を利用した水上交通の要になっていました。また、石炭が発見された幌内（三笠市）に向かう中継地にもなり、幌向太と幌内の中間にあった〘岩見澤、に宿泊所が設けられました。

明治政府は、多数の国事犯などを流刑するため刑法を改正し、明治14年、未開地の月形村に樺戸集治監を開設し、農地開拓、道路整備や水路しゅんせつなど緊急な事業に囚徒を動員しました。これに伴い、脱走を防ぐため月形村の石狩川対岸に当たるビバイタツ（美唄達布）には、見張りも置かれました。幌内では、囚徒を採掘に動員するため、明治15年、市来知村（三笠市）に空知集治監が開設され、翌年には二つの集治監の囚徒数は急増し、合わせて2千人を超えました。また、石炭を輸送するため明治15年に幌内・手宮（小樽市）間に幌内鉄道が開通し、翌年、幌向太は幌向村になりました。鉄道建設に当たったアメリカ人技師のクロフォードは、途中通過する幌向川および〘郁春別川、には融雪期などに多い流木による橋杭の損害を避けるため、耐久性がある長さ約30メートルのアメリカ製鉄道橋を架けました。明治17年、政府は幌向太北部地帯に新たに岩見沢村を設村し、山口県や鳥取県などから士族移住を受け入れました。

集治監囚徒による農地や炭鉱の開発、道路整備は空知開拓の先鞭になり、これらに続く士族移住に伴い誕生した岩見沢村は、陸路交通の要として急速に発展しました。幌向太西側は、後に江別村に編入されて豊幌となり、東側の幌向町は、昭和55年に開基百年〘創紀、を編さんし、岩見沢発展の大きな弾みになった郷土の歴史を記録に残しました。



幌向川および郁春別川に架けられたアメリカ製鉄道橋と機関車弁慶号の模型

#### キラキラの瞬間

市内のできごとをお伝えします！



4月8日(水)  
春の全国交通安全運動セーフティコール旗の波



#### 人の動き

住民基本台帳（令和8年3月31日現在）

人口	男	33,680人	（前月比 - 132）
	女	38,596人	（前月比 - 155）
	総数	72,276人	（前月比 - 287）
うち外国人		499人	（前月比 + 14）
世帯数		39,943世帯	（前月比 - 25）

広報紙に関するご意見・ご要望は、はがき、市ホームページのフォーム、ファックス（0126-23-9977）、Eメール（pr@city.iwamizawa.lg.jp）、総務部秘書課広報室へお願いします



#### 岩見沢市役所

☎ 068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号  
☎ 0126-23-4111（代表） FAX 0126-23-9977



ホームページ



X (旧 Twitter)



Facebook



Instagram



LINE

#### 広告

ロゴマークが新しくなりました

## やわらぎ齋場

あいプラングループ 株式会社ライフネット／岩見沢公益社

☎ 0120-10-8780 365日24時間ご相談受付

#### 広告募集中

#### 広報いわみざわに広告を掲載しませんか

募集枠数 各号2枠（申込多数の場合は抽選）  
掲載料 各号1枠22,000円  
申込期限 掲載希望号の3カ月前の月末（8月号に掲載希望の場合は6月1日(月)までに申し込み）  
申込方法など、詳しくは市ホームページをご覧ください



ID: 14518